

案件概要書

2011年10月18日

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

1. 案件名 (国名)

国名： アフガニスタン・イスラム共和国

案件名： カブール国際空港駐機場改修計画 (Rehabilitation of the Apron of Kabul International Airport)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における航空セクターの開発実績 (現状) と課題

アフガニスタンでは航空は道路と並ぶ運輸・交通の重要な手段となっている。首都カブールの空港は3,500mの滑走路1本を持つアフガニスタンの玄関口であり、同国最大の空港として、国内外の交通・物流の拠点となっている。同空港の旅客数は近年著しく増加(2010年には約140万人)しており、2020年には4百万人まで増加することが予測されている。

旅客数が増加している一方で、航空機の駐機場所の不足により航空機の遅延が発生するなど、外国航空会社等の乗り入れ希望に対応することができないことが大きな機会損失となっており、エプロンの拡張等施設の改修が緊急的に必要な状況にある。

(2) 当該国における航空セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

アフガニスタンは、「アフガニスタン国家開発戦略(ANDS: Afghanistan National Development Strategy)」(2008年)において、カブール国際空港とヘラート空港を、国際民間航空機関(ICAO)の基準と勧告を満たす国際空港とすることを目指している。また、ANDSと同時に公表された運輸民間航空省作成の「運輸民間航空省戦略(Ministry of Transport and Civil Aviation Strategy)」によれば、「民間航空の発展には、第一に国際民間航空機関(ICAO)の基準と勧告に合致した空港の整備を行うべき」とされており、優先順位としては全国約40空港のうち、カブール国際空港とヘラート空港の整備が最上位に位置づけられている。

(3) 航空セクターに対する我が国の援助方針

インフラ整備は我が国対アフガニスタン援助重点分野の一つに位置付けられている。JICAはカブール首都圏開発協力プログラムにおいて、空港等の整備を成果の一つに位置づけて、カブール空港の整備を図ることとしている。カブール国際空港に対しては、「カブール国際空港ターミナル建設計画」(無償、実施済)を中心に協力を実施している。現在、「カブール空港機能強化プロジェクト(技プロ)」にかかる協力準備調査を実施中であり、同調査にて施設改修計画及び技術支援の提案がなされる予定である。以上の支援から、「カブール国際空港は日本の援助」というVisibilityを示している。

(4) 他の援助機関の対応

カブール国際空港に対しては、これまでに世銀、米国、ドイツ、国際民間航空機関(ICAO)などが滑走路・航空灯火の整備、レーダーの設置、セキュリティ機器の供与、国内線ターミナルの改修や各種人材育成プロジェクトを実施しているが、本件との重複はない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業はカブール国際空港の機能強化、特に駐機航空機数の増加及び、航空機の遅延解消に貢献する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

カブール国際空港/カブール市

(3) 事業概要

エプロンの舗装改修（約 54,100 m²）、エプロン照明灯、エプロンの拡張（約 38,500 m²）、エプロンの新設（約 33,000 m²）

(4) 事業実施体制

運輸航空省が責任官庁、カブール国際空港が実施機関であり、両機関は 2008 年に完了した無償資金協力「カブール国際空港ターミナル建設計画」の他、米国やドイツ、国際機関のプロジェクトの実施経験を有する。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は既存空港用地内にて実施され、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：

「ア」国の玄関口であり、最大の国際空港の利便性・確実性が向上することにより、同国の経済発展に繋がり、貧困削減に間接的に貢献する。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：特になし。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

現在実施中の「カブール国際空港誘導路改修計画（無償）」において、資材費の高騰により入札不調（予定価格超過）が生じたため、コンポーネントを削除した経緯がある。

(2) 本事業への教訓

本案件の設計・積算作業の際には「カブール国際空港誘導路改修計画」における入札結果等を反映し、同様のことが起きないように留意する。

以上

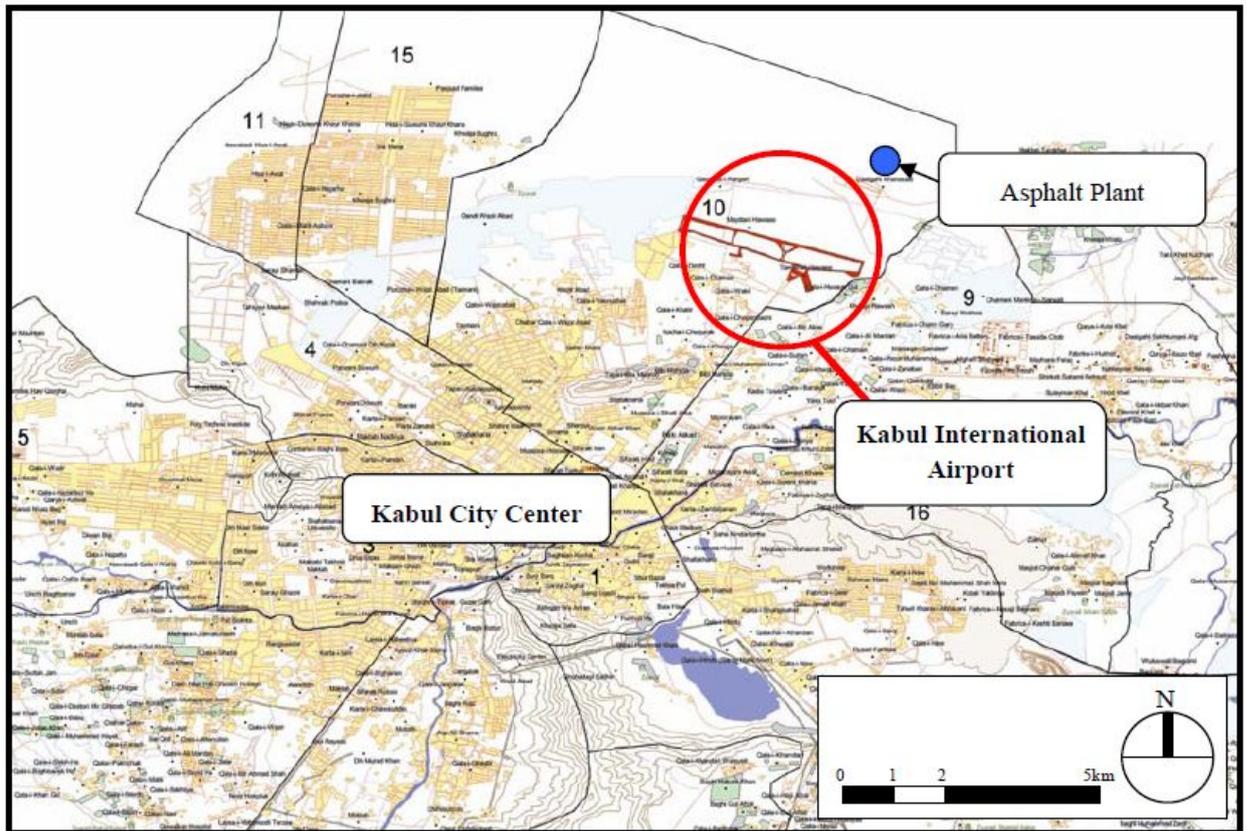


図1 カブール空港位置図

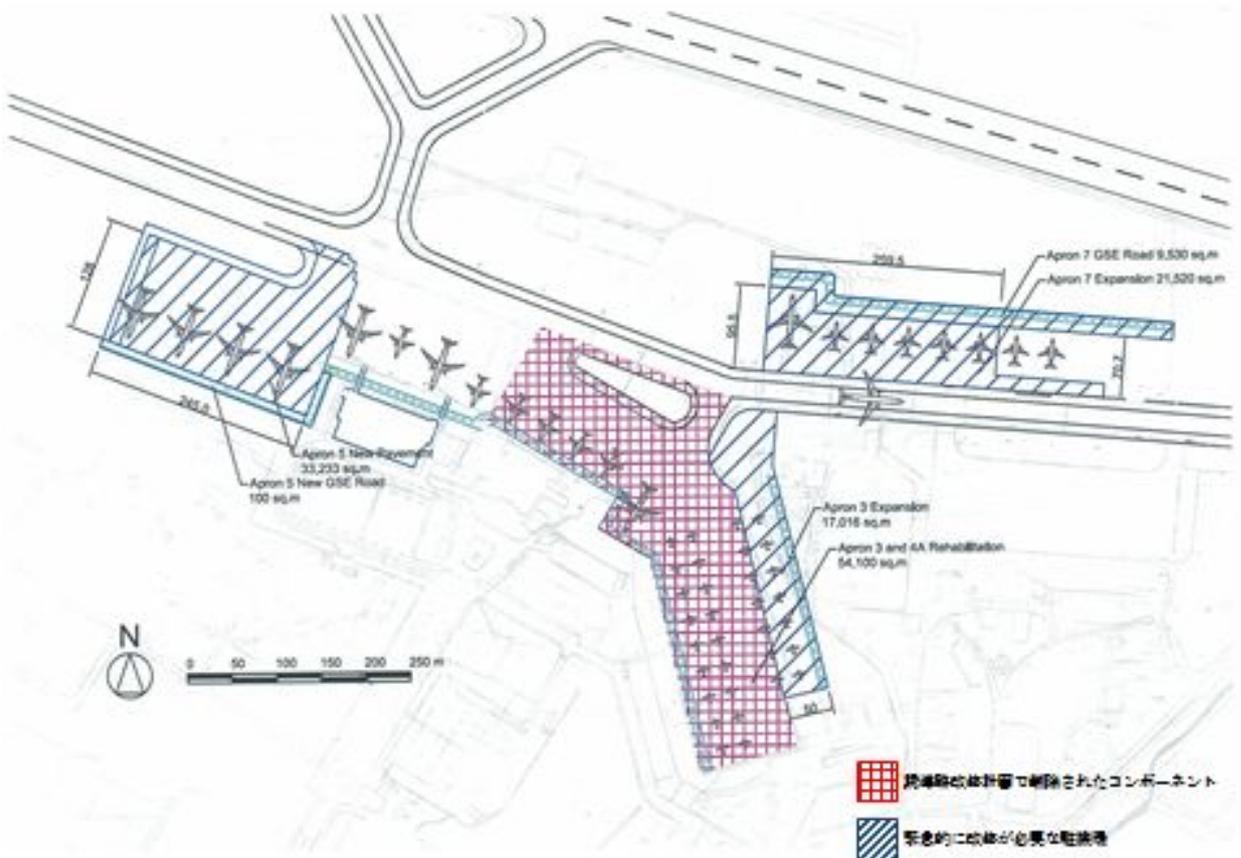


図2 カブール国際空港駐機場（網かけ部分）